

「情報I」に向けたプログラミング研修会

~情報デザイン -画像処理編~

アシアル株式会社 アシアル情報教育研究所 岡本 雄樹



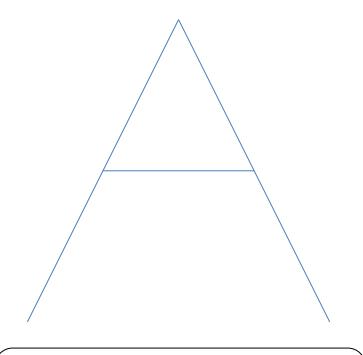
情報デザインの実装技術

情報デザインの実装技術 画像処理について

■ 画像処理について

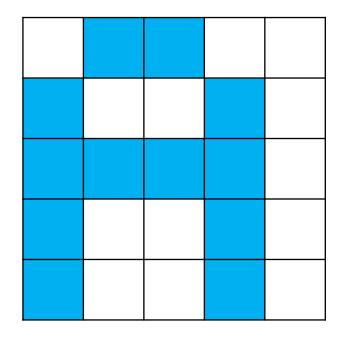
- └ べクタ画像とラスタ画像の違い
- レイヤーについて

ベクタ画像



線や多角形、円などの数式

ラスタ画像 (ビットマップ画像)

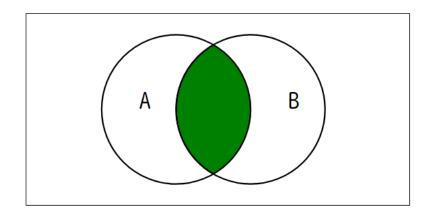


点の集合

	ベクタ画像	ラスタ画像
メリット	拡大や縮小に強い	小さい画像なら小さいデータ量 で表現可能 表示
デメリット	表示の際に計算が必要	拡大すると粗くなる
主な用途	イラスト、フォント、スライド の文字や図形、フローチャート など	写真、手書きの絵、濃淡がある 複雑な画像
主なファイル形式	svg	png, jpg, bmp

■ ベクタ画像の例

ANDのベン図



論理演算と二進数の足し算 https://anko.education/joho/programming/logical

■ラスタ画像の例①

Monaca Education

舌用事例 公式テキスト 教員研修 料金 FAQ ぷよぷよ 記事 お知らせ あんこエデュケーション





スマホアプリ開発で 楽しくプログラミング学習

お問合わせ



モデルとモデルが持っているタブレット端末はラスタ画像 他の素材はベクタ画像

■ ラスタ画像の例②

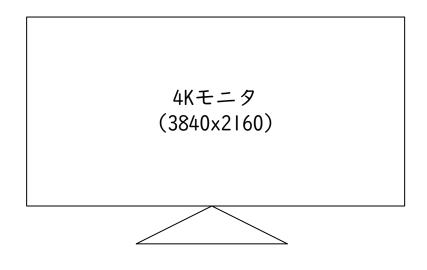


micro:bitが搭載する5x5のLEDはビットマップ表示の良い例

■ ラスタ画像の例③

モニタも基本的にはビットマップ表示です

VGA (640x480)



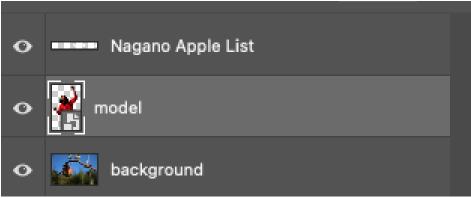
■ レイヤーとは?

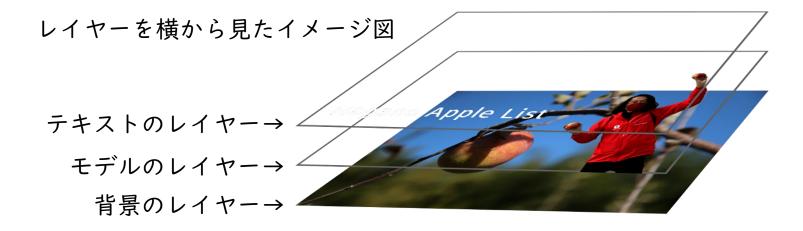
- ・ 複数の画像を重ねて1つの画像を作る考え方です。
- ・例えば、長野の雄大な自然を背景画像とし、その上に、 人の画像やリンゴの画像を重ねたりして、宣伝用のイメージ画像を作ったりします。
- ・人やリンゴの画像は、予め、輪郭に沿って『きりぬき』 をしておき、余計な部分は透明にしておくことで、背景 もちゃんと表示されます。

■ レイヤーの一例

イメージウインドウ画面 レイヤーパネル

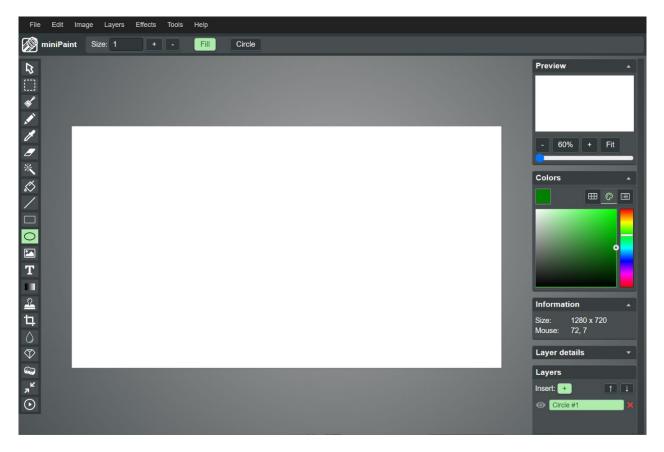






■ レイヤー操作体験

・ブラウザで動作するラスタ系画像編集ソフトを使います



https://viliusle.github.io/miniPaint/

画像処理について 画像処理について

■ 完成形



■ レイヤー操作体験ステップ

- ・レイヤーを3つ作成し、それぞれタイトルを設定
 - レイヤーI:background(背景画像)
 - レイヤー2: model (モデル)
 - レイヤー3: copy (コピー)
- ・各レイヤーに素材を流し込み適当な位置に配置
- ・合成結果をPNG画像としてダウンロード

■ 画像の追加(背景)

・画像を追加するとレイヤーが自動生成される



■レイヤーの名称変更

レイヤー名: background



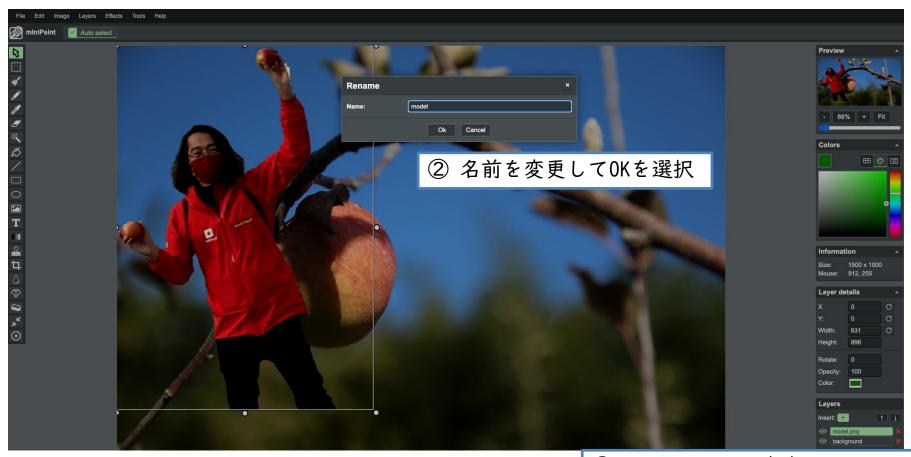
■ 画像の追加(人物)

・画像を追加するとレイヤーが自動生成される



■レイヤーの名称変更

レイヤー名: model

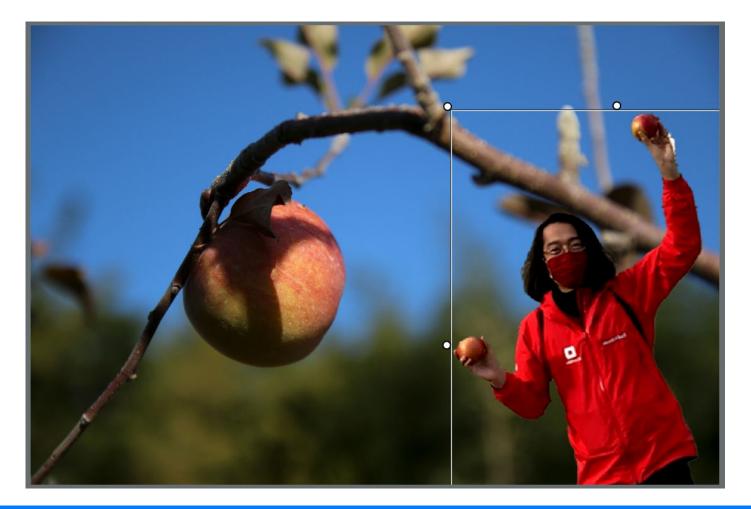


① レイヤー名をダブルクリック

画像処理について 画像処理について

■画像の移動

人物のオブジェクトをドラッグ



■ テキストの入力

・テキストツールで配置したい場所をクリックして Sizeを100にし、「Nagano Apple List」と入力



■テキストカラー変更

- 文字列をハイライト
- ・ カラーピッカーで白(#FFFFFF)を選択



画像処理について

■ レイヤーの名称変更

レイヤー名: copy



① レイヤー名をダブルクリック

■ 完成!ダウンロード手順

- · File → Export から「JPG」を選択して画像出力
- 出力された画像はダウンロードフォルダに格納される

